

当院概要

地方独立行政法人大牟田市立病院

福岡県大牟田市 ※平成29年4月1日

人口 11万7224人

高齢化率 35.1%

- ・ 30診療科 ※平成28年度実績
- ・ 350床 (7 : 1)
- ・ 平均在院日数 12.7日
- ・ 在宅復帰率 90%
- ・ 紹介率 85.5%
- ・ 逆紹介率 105.6%

- ・ 地域がん診療連携拠点病院
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 災害拠点病院
- ・ 久留米大学教育関連病院
- ・ ほか



はじめに

医療機関で働く専門職の多くは、専用のユニフォーム（制服）を着用している。ユニフォームは職業標識の役割を果たし、求められる機能性も時代とともに変化している。

しかし、MSWのユニフォームに着目すると、白衣、事務服、スーツなど、医療機関によって様々である。先行研究を調査したが、MSWのユニフォームに関する研究論文は見当たらなかった¹⁾。

そこで、MSWがユニフォームを介して求めている要素をMSWのアイデンティティの視点から考察する。

1) 医中誌Web : 「MSW」 and 「ユニフォーム」 or 「制服」 で検索 (2017年5月10日)

研究方法

【目的】

- ・ MSWがユニフォームに求める要素を明らかにして、
《ユニフォームを介して求めている要素を
MSWのアイデンティティの視点から考察する》

【研究方法】

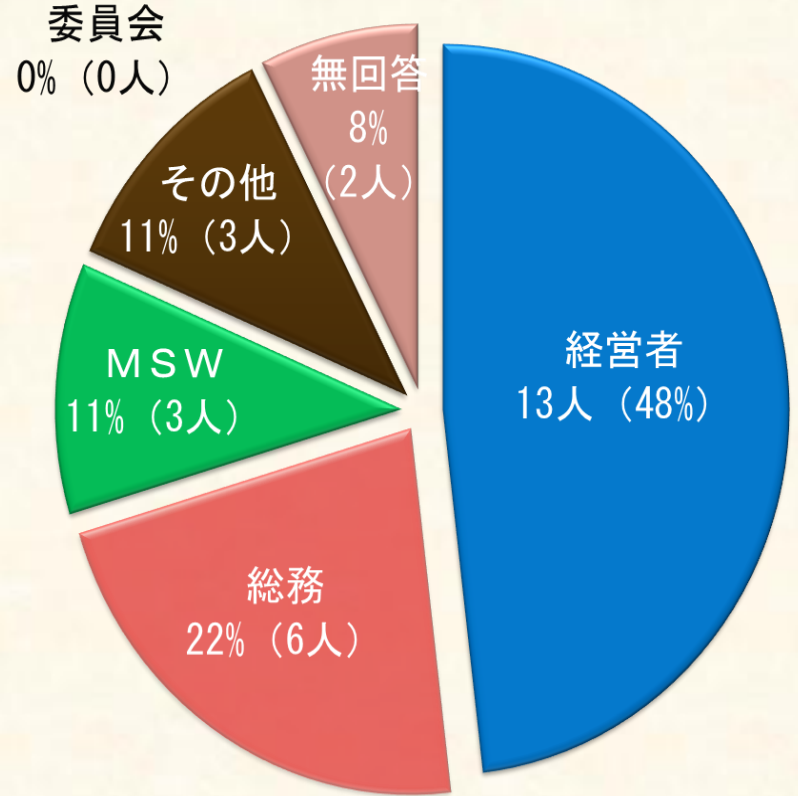
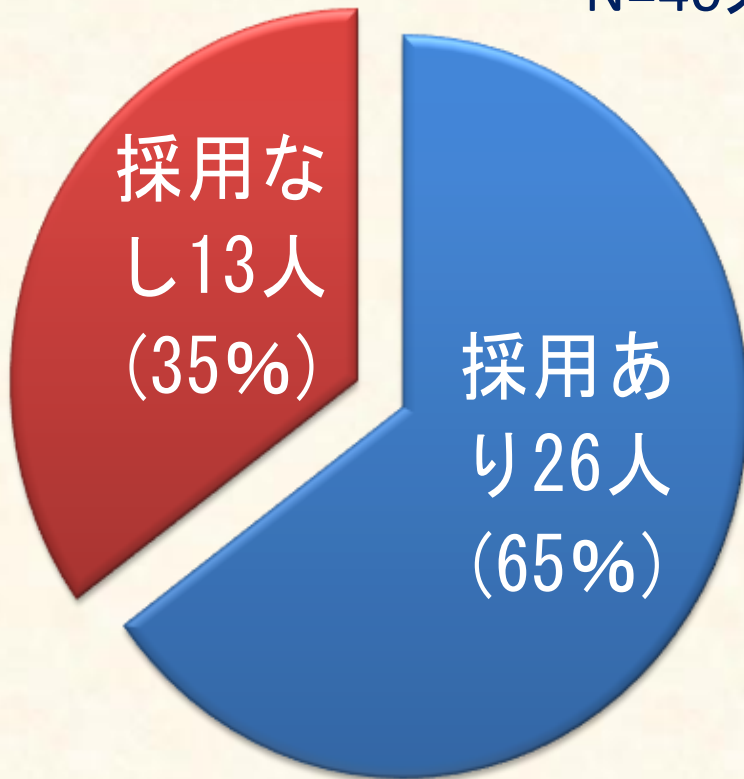
- ・ 郵送による自記式無記名アンケート調査
- ・ 対象者：MSW46名福岡県有明医療圏内の病院21カ所
(精神科病院を除く)
- ・ 実施期間：平成29年5月1日～6月9日
- ・ 有効回答数40名 87%
(急性期22名、回復期7名、維持期11名)

【倫理的配慮】

- ・ 大牟田市立病院倫理委員会の規定に沿って倫理的配慮のもと調査をおこなった

結果①

N=40人



あなたの職場ではMSWのユニフォームを採用していますか？

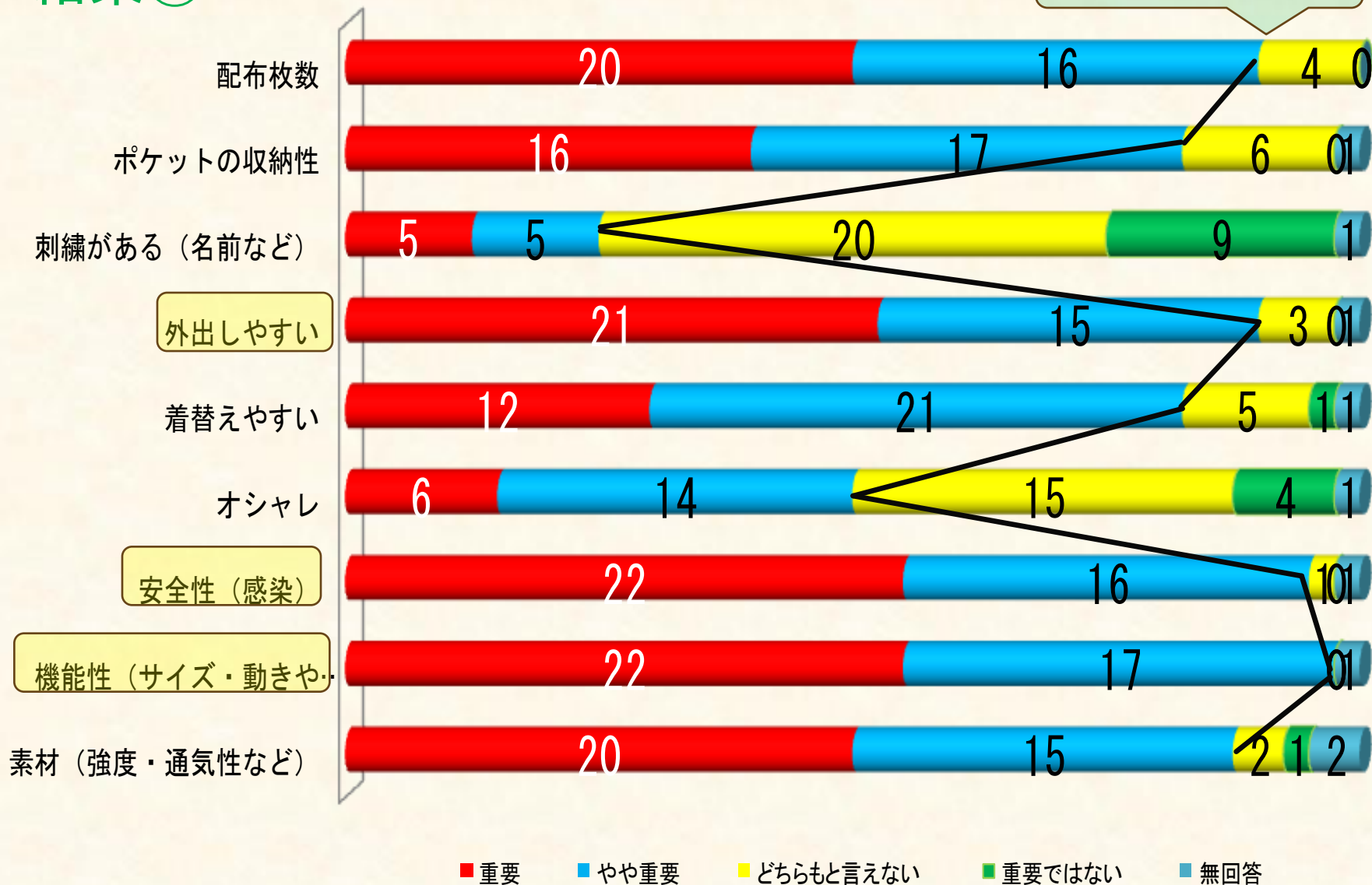
現在のユニフォームは主にだれが決めましたか？

必要あり 27		必要なし 13	
採用あり	採用なし	採用あり	採用なし
19	8	7	6

結果②

N=40人

重要+やや重要

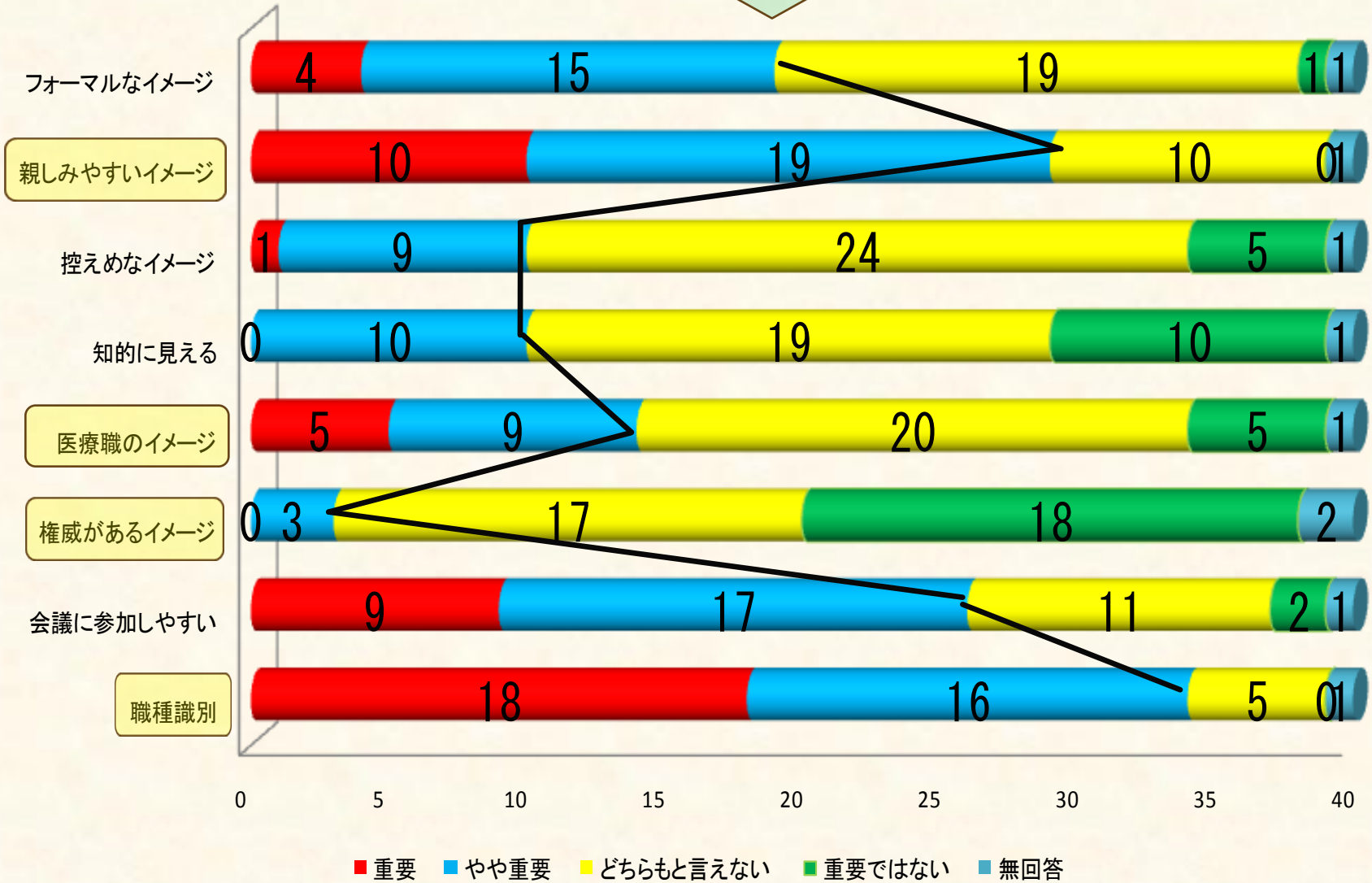


MSWのユニフォームに必要と考えられる項目 ①

結果③

重要+やや重要

N=40人



MSWのユニフォームに必要と考えられる項目 ②

結果④

N=40人(複数回答あり)



MSWのユニフォームに最も望ましい色

結果⑤

ユニフォームに関するご意見など（自由記載）

- ✓ 医師と間違えられる。職種識別がしにくい
- ✓ スタッフからもMSWと認識されない
- ✓ ベッドサイドで膝を床について話すことがあり、衛生面が気になる
- ✓ コミュニケーション手段の1つ
- ✓ スカート以外
- ✓ 親しみやすいと面談しやすい環境作りの一つなる
- ✓ 他部署はMSWのユニフォームの事など重要視していない
- ✓ SWの意見も考慮して採用してほしい
- ✓ 患者や家族からは白衣だと忙しそうでゆっくり話せないという声はいただく事がある
- ✓ 院外の活動もあり、外出しやすいほうが良い
- ✓ 事務服であるため患者と接するとセールスと間違われる

考 察

- (1) 専用ユニフォーム必要(68%)と感じているが、採用している今の服はMSWの意見が十分に反映されていない。
- (2) 「MSWとして認識されたい」とユニフォームに職業識別の要素を求めていると考えられる。
- (3) 求める要素に、安全性(感染対策)・機能性(動きやすい、外出しやすい)があるのは、MSWが地域に出向いて患者を支援する機会が多くなっていることが考えられる。
- (4) 色は白の回答が多いが、全体的に明るく暖かい印象を与えるものが良く、理由として良好な関係構築を期待をしていることが考えられる。

結 論

本研究において、ユニフォームを介して求めている要素をMSWのアイデンティティの視点から考察した結果、以下の事が分かった。

1. 「MSWと認識されたい」と強く期待している。
2. MSWにも安全性(感染対策)を求めている。
3. 患者・家族と更なる良質な関係構築を期待している。